

平成 29 年度 水素による関西しごと創生・低炭素まちづくりスタートアップ事業  
関西圏の水素ポテンシャルマップの作成について

平成 29 年 10 月 26 日  
エネルギー検討会

## ■水素エネルギーの利活用の拡大に向けた取組

平成 29 年度から 3 ヶ年の計画で、「水素による関西しごと創生・低炭素まちづくりスタートアップ事業」として、国の地方創生推進交付金を活用し、

- ・関西圏における水素ポテンシャルを一元的に把握・発信できるようにした上で、
- ・2020 年代後半以降の実現を念頭に、関西における水素の製造（輸入）から貯蔵・輸送、利活用までのサプライチェーン構想を策定する。

## ■平成 29 年度事業「関西圏の水素ポテンシャルマップの作成」の実施状況

### 1 事業概要

関西圏における水素関連の様々な情報について収集整理の上、将来における水素利活用技術・製品（アプリケーション）の導入可能性を予測。取り扱われる水素の量、二酸化炭素排出量の削減効果を試算。これらの情報を水素ポテンシャルとしてマップ化し公表する。

#### ※水素ポテンシャルの例

- ・水素・燃料電池分野の研究機関、水素利活用プロジェクト、燃料電池自動車等の水素アプリケーション、供給・移送インフラ、水素関連企業、構成府県市の水素関連施策等
- ・今後、実用化が見込める水素アプリケーション（燃料電池バス、業務・産業用定置型燃料電池、水素発電等）の普及状況、水素の取扱量、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果

### 2 事業費 5, 554 千円

### 3 業務進捗

#### ○委託により情報収集、将来予測、マップ化等を実施

→事業者を公募型プロポーザルにより選定。8 月末委託契約締結  
受託事業者：日本環境技研株式会社（東京都文京区）

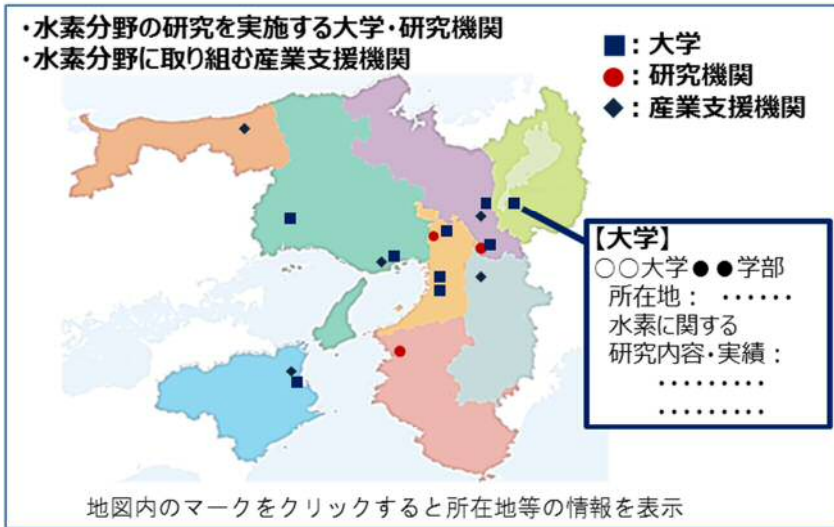
#### ○作業経過

- ・既存文献、各種統計資料等調査
- ・構成府県市の水素関連施策、水素プロジェクト実施状況等に係るアンケート
- ・将来における水素アプリケーション導入可能性の予測手法に係る検討

#### ○今後の作業予定

- ・11 月 事業者ヒアリング等
- ・12 月 収集整理した情報を踏まえ、水素アプリケーション導入可能性等を予測、水素取扱量・CO<sub>2</sub>排出量削減効果を試算
- ・1、2 月 マップ化作業
- ・3 月 冊子印刷、ホームページ掲載

(参考) 水素ポテンシャルマップのイメージ



滋賀	■立命館大学
京都	■京都大学 ◆(公財)京都産業21 ●(公財)地球環境産業技術研究機構
大阪	■大阪大学 ■大阪市立大学 ■大阪府立大学 ●産業技術総合研究所関西センター
兵庫	■神戸大学 ■兵庫県立大学 ◆(公財)神戸市産業振興財団
奈良	◆奈良県産業振興総合センター
和歌山	●和歌山県工業技術センター
鳥取	◆(地独)鳥取県産業技術センター
徳島	■徳島大学 ◆(公財)とくしま産業振興機構

〔 大学・研究機関等の例については、既存資料・ホームページ等から抽出したものであり、今後、マップへの掲載に向けて、さらに精査します。 〕



滋賀	イワタニ水素ステーション大津
京都	上鳥羽水素ステーション ※ ENEOS Dr. Drive セルフ菱川店
大阪	イワタニ水素ステーション大阪森之宮 イワタニ水素ステーション大阪住之江 イワタニ水素ステーション大阪本町 ※ ENEOS 枚方走谷水素ステーション ENEOS Dr. Drive セルフ茨木インター店 北大阪水素ステーション イワタニ水素ステーション関西国際空港
兵庫	神戸七宮水素ステーション イワタニ水素ステーション尼崎
徳島	北田宮 S T N 徳島移動式水素ステーション ※ 万代町 S T N 徳島移動式水素ステーション ※

※印: 移動式ステーション